一橋陸上競技倶楽部理事会議事録

日時　：　2019年４月４日（木）　18:30～20:00

場所　：　如水会館　14階記念室西

出席者（敬称略）：

（理事会）浜田、岩瀬、大鳥羽、井田、陶山、日渡、伊丹、中村（英）、定成：後藤顧問：建部監事

（学生幹部）佐藤（主将）、朝田（副将）、福澤（主務）、池永（副務/内務）、笹木（内務・津田塾）

１、報告事項

1. 理事退任申し出、顧問委任の件（浜田会長から報告）

田島理事からの理事退任の申し出、および後藤前監事に顧問を委任する件、報告有り。

関連して浜田会長から、会則を改訂して理事の人数を現在の12名から例えば15人くらいに増やし、法務に通じた理事、女性理事を増強したいと考えており、来年3月の総会までに具体的に検討していきたい旨発言有。

1. グランド公認更新検定の件（岩瀬幹事長から報告）

4月2日に陸連による検定を受けた。「全般的に良好」との講評。スタートラインの位置がほんの数ミリずれている指摘もあったが、既に日本体育施設によって修正済み。スタート用警告カードと走り高跳びのバー留め具が不足していると指摘された。ちゃんと買ったはずなので、学生諸君には、もっと探すとともに整理整頓をしっかりしてもらいたい。検定に係る諸費用は、陸連が合格判定を出したのち郵送されてくることになっている、郵送されてきたら大学から支払う流れになる。

1. 今後の用器具・備品の購入の件

投擲の秤は今のものも一応使えるので当面は今のを使用。ハードルについては現在のものがかなり古くなってきているのでいずれは必要台数購入することになるが、東京女子体育大学で今まで使っていたのが一橋のものよりも管理状態がいいので、東女体大学に払い下げ交渉してみるのもありかと思っている。風速計については検査を受けなければいけないのだが、NISHIスポーツは検査できないと言ってきたが、交渉の末NISHIから陸連に検査請書を提出することで結着。

1. 四大学戦、OBOG対抗戦の件（学生から報告）

4/14の四大学戦は、ホームグランドの補修工事も済んで部員による担当振分けに基づいて準備も順調に進んでいる。6/16のOBOG対抗戦は如何にして多くのOBOGの参加がいただけるかプログラムを検討中。誘いかけも積極的に展開していく。

1. 検討事項
2. 年会費の案内文

案文を井田理事からたたき台として配布。振込み会員と如水会カード引落し会員の2種類について、諸意見が出され、会議の場で文面について一応全員の確認を取った。追加的に意見があれば、全理事・監事・顧問にメールを配信してもらいたい。【改定案をこの議事録に添付。】

1. 都留杯・水上杯の見直し

幹事長から席上配布資料に基づいて説明。都留杯について配布資料の緑色塗りの記録を基準記録とし、青色塗りのハーフマラソンを新規に設定したいと考えている。【席上配布資料データをこの議事録に添付。】

1. HP担当者

今までHPをメンテしていただいていた坂田さんから、現役時代に陸上部HP担当をしていた斉藤和輝氏が適材ではと推薦されている旨幹事長から紹介。これとは別に中村（英）理事から斉藤氏も含めて現役部員当時にHP担当をしていた若手OBを当たってみるのも一つの方法ではと提案有。結論としては、若手理事である定成理事からまずは斉藤氏に打診してもらうこととした。

1. 会則・慶弔規定の見直し

会則関係の変更は総会議決を必要とするので来年3月に向けて内容を練っていく。例えば、現行会則の第12条について役員の選考プロセスが今一つ明確でない、また第6条は「本会に入会しようとするものは入会申込書を提出し…」との表現になっている。実際はこんな手順を採っていないし、卒業してもOB会に無関心な若手が増えるのではと懸念される、等の意見が席上出された。時間はあるので、これら以外でも他の理事からも意見を出してほしい。

* 1. その他

１００ｍゴール地点の電気掲示ケーブルが、重たいマンホール蓋をケーブルの上に直接乗せた為にケーブルが切断された。こういうリスクが常にあったので、これまではマンホールとマンホール蓋の間に角木材を井桁に噛ませてきた。要注意の徹底と他のいいアイデアの提案を現役の皆さんにもお願いしたい。

　以上